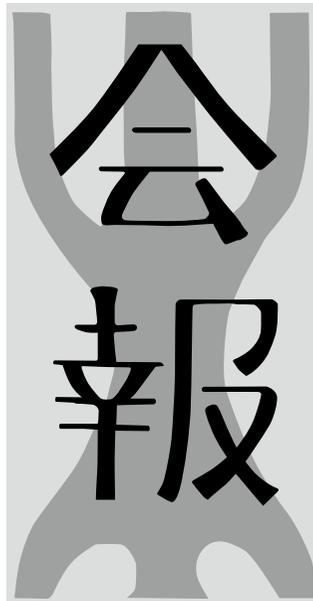
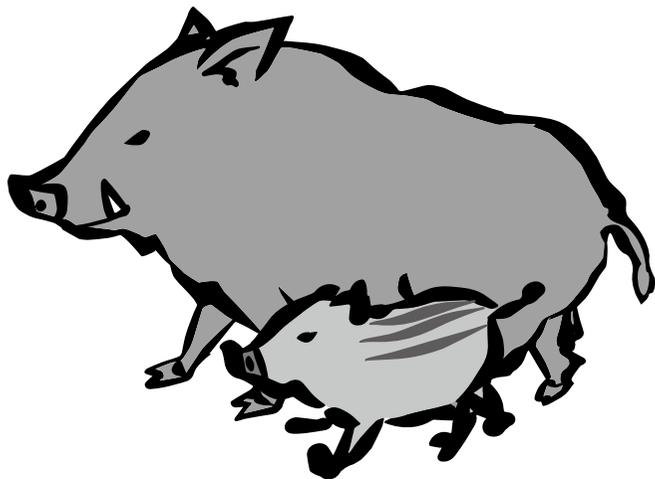


# 年頭所感



日本私立小学校連合会

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館6階

電話 03(3261)2934

日本は第二次大戦の敗戦で、人々は住む家も食べるものもなく、心は傷付き、何かに生きる意味を求めていた。そして、新しい教育の必要性を感じ、昭和二十二年（一九四七年）に最初の「学習指導要領」を世に出した。教育によって国の復興を願う気持を前面に押し出した力強い内容である。そして、その目的に向かって、巨大な船に子どもたちを乗せて全速力で進んできた。

その結果、日本は非常に短い期間ですばらしい復興を果たし、昭和三十九年（一九六四年）には、復興を象徴するオリンピックを東京で開催した。その後の経済成長はさらに目覚ましく、経済大国としてその名を世界に轟かせてきた。

しかし、バブル崩壊後、経済は低迷し、再び経済成長を図ることが国是のような風潮になってきた。そして、日本は経済成長のために、また

国家が目指す方向に進んでいく大型船が適していた。しかし、仮想通貨が国の枠を超えて広がり、人口知能が現実化し始めている時代に適した教育には、多種多様な試みが必要となっている。

教育は本来、個人の meaning of life（生きることの意義）の探求のためにあるのであり、経済の成長のためにあるのではない。巨大な船に子どもたちを乗せて、国が進みたい方向に進んでいくような教育の時代はすでに終焉を迎えている。

これからの急速な時代の変化や、学習者の多様な学びの目的に適合した教育には、多機能で、小回りがきき、どのような波も越えられ、目指す方向に自由に進むことができる、優秀な小型船が適している。全国の私立小学校の一枚一枚が、それぞれの特徴を持つ優秀な小型船であって欲しいと願う新年の幕開けである。

## 年頭所感

### 大型船から 小型船の時代へ

日本私立小学校連合会会長

小泉清裕

しても教育を利用しようと  
もがいている。  
戦後の復興  
期の教育に  
は、大量の若  
者も乗せて、

### 年頭所感

## 小泉会長曰く「小学生のことは小学生に聞け」

日本私立小学校連合会副会長  
東京都大学付属小学校校長

重永睦夫

私立小学校連合会のお仲間  
に東京農大の  
新設小学校が  
加わることを  
歓迎するとい  
うようなこと  
を述べられま

あけましておめでとございます。

天皇陛下の生前護位の年を迎えたわけですが、日本私立小学校連合会にあたりしいお仲間を迎えることが決まっている年でもあります。四月開校の東京農業大学稲花小学校が開校と同時に加盟することを表明しておられます。昨年暮れの十二月二十二日に開校記念式典が開かれ、本連合会の小泉清裕会長が祝辞を述べられました。その中で農業経済学者の東京農大初代学長横井時敬の名言を引用されたことが参加者の好評を博しましたので、年頭に当たりここにご紹介申し上げます。横井時敬は「稲のことは稲に聞け 農業のことは農民に聞け」と言っていたそうです。小泉会長はそれになぞらえて「小学生のことは小学生に聞け」ということだろう、我々私立小学校こそがそういう精神を持たなければならない、その

した。

実を申せば新設農大稲花小学校と私どもの都市大付属小学校は直線距離で2kmという至近距離にあります。教育目標も子どもときわめて似ておりますので、この少子化のなかにあって大変なライバル校が出現することになるわけですが、同校の夏秋校長先生や小杉教頭先生とは「良きライバル」として私立小学校応募者の裾野を広げるために切磋琢磨していきましようと話し合っているところであります。私どもは「私学は一つ 教育は私学から」を合い言葉にしているわけですから、お互いに「公立に負けない学校づくり」をすすめて他私学の良いところをお手本として常に自校の教育を振り返る一年としていきたいと思えます。小学生のことは小学生に聞け。皆様、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 年頭所感

## 開かれた学校に

日本私立小学校連合会副会長  
桐光学園小学校校長

斎藤滋

中学校、そして小学校という順に、そこに学ぶ学生生徒、児童の割合が少なくなるのは当然のことではあ

新春のお慶びを申し上げます

今年、関東地区が夏季研修会と幹部研修会を担当することになります。十一月には毎年行われる地区研修会もありますので、それぞれの部会の担当の先生方には例年以上にご負担をおかけしてしまふこととなります。しかし、いつもそうですが、研修に参加したり、研修を企画したりする中で私たちは多くのことを学ぶことができ、また、多くの人と関わりながら自分の今を見つめることができます。「これでいいの」「これでいいのだ」「こうしたい」「そんな思いの繰り返し毎日ですが、あらゆる場面が自分を成長させてくれるところであることをありがたと思います。さて、少子化、将来の生活の不安などの社会的な課題や問題は、私立小学校にもしだいに影響を与え始めていることを感じるのには私だけではないと思えます。私立学校が、大学、高等学校、

りますが、現状を見て、あまりに小学校が社会に開かれていないのではないかと考えることがあります。なぜ、私立小学校に子どもを入学させるためには、親子ともに時間的にも経済的にもこんなに変な思いをしなければならぬのか、と思う人がきつとたくさんいるはずで、小学校の入り口までの歩みの段階で、「やはり公立学校でいい」と思わせるようなことがあるのではないのでしょうか。これはただちにどうにかなることではないでしょうが、各校が「開かれた学校」を意識し、そのために何をすべきかを考えることによつて少しずつ変化が出てくることだと考えます。私が働く学校もその一つです。どんなこともそうですが、「昨年と同じでよい」とは何一つありません。加盟校の皆様との交流を大切にしながら自分も学校も成長、発展できるようにしていきたいです。

感頭年

災いを転じて福となす

日本私立小学校連合会副会長  
須磨浦小学校校長

山本義和

謹んで新春のお慶びを申し上げます。幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、第六十回西日本地区研究会、私立小学校初任者研修小学校(西日本地区)、第六十二回日私小連全国教員夏季研修会、第六十三回日私小連全国幹部研修会に参加させていただき大変お世話になりました。どの研修会でも子どもたちのために、この思いを持った先生方の好奇心旺盛な姿勢、研究熱心な態度に大変感銘を受け有意義な研修に参加することができたと思っています。改めて運営に携わってこられた先生方、講師の先生方、参加していただいた先生方に感謝申し上げます。

さて、平成時代最後を飾る漢字は【災】でした。昨年は、地震・豪雨・台風等々の災害が相次いだ年でもありました。今から約千三百五十年前

の唐の時代に生きた劉希夷

(りゅうぎい)

の漢詩に「代

悲白頭翁」と

題する詩の第

四節に「年年

歳歳花相似た

り 歳歳年々人同じからず」春になれば、毎年同じように花は咲くけれども その花を見ている人は、毎年変わっていて同じではない、自然の悠久さと人間の命のはかなさを対峙させた劉希夷二十代の作品です。また、「二〇一八ユーキャン新語・流行語大賞」トップテンには「災害級の暑さ」が選ばれました。一九八四年に創始されたこの賞で自然環境の変化を表現した流行語は今までほとんど見られませんでした。地球環境は千数百年前と明らかに変化しているようです。《自然の悠久とは

…》を考えさせられる平成三十年でした。

今年はい災いを転じて福となす年になってほしいですね。予測困難な変化に主体的に向き合い皆様方と共に歩んでいければ幸せです。

感頭年

「わくわく」していますか

日本私立小学校連合会副会長  
福岡雙葉小学校校長

中村和子

全国幹部研修会では二つのわくわく体験がありました。

一つは交流活動。母国の現状を紹介した、留学生だからこそ「視点」。母国にいるから見ること、外から見ること。同じ事柄でも立ち位置が変わればとらえ方は様々です。しかし、同時代を生き、これからの創る地球人として現状を「知り」、互いを「受け入れ合う」ことは大変重要だと改めて考えることができました。

十数年前、私は雙葉学園の設立母体の幼きイエスの会のシスターの方が活躍された地域の一つであるタイ王国を、姉妹校の先生方と訪問する機会に恵まれました。山岳地帯での生活体験もありました。日本を離れ、改めて教育は連鎖するということを強く感じました。現在、他国を体験する機会はたくさんあります。目的や

方法は何であれ、世界を知ろうと意欲的に行動することは重要だと考えています。二つ目は講

師の方の「学生時代に、正解のない課題に対して『あなたはこう思うか』と常に問いかけていたことが思考を深め、現在の私の活動に繋がったと思います。」という言葉です。知識を得ることはスタートです。日常は予定調和の世界ではありません。得た知識をどう活用できるか、一人ひとりの意欲とセンスにかかっています。私たちの教育によって「思考を巡らせる」ことが生み出す「楽しさ」を子どもたちに味わさせ、志につなげていくとは何と素晴らしいことでしょうか。新しい時代を前に、再び熱い思いが沸き上がってきました。

今秋、九州地区私学教員の絆を深め、視野を広げる研修会が長崎南山小学校で開催されます。本年もどうぞよろしく願います。

**子**

子どもだけでなく、  
先生も、答えない  
間い々に挑戦すべき！

相模女子大学小学部  
校長 竹下昌之

明けましておめでと〜うございま  
す。

今年最大の国民的行事は、四月三〇日に天皇陛下が退位され、皇太子さまが翌五月一日に即位されることです。それに関連する臨時祝日が多くなる二〇一九年度から東京オリピック・パラリンピックが開催される二〇二〇年度に向けて各校、授業日数の確保・学校行事等「年間計画」作成に向けて今まさに頭を悩まされている状況ではないでしょうか。ところで、教育現場のリーダーは今、どんな未来を見据え、どんな人材を育てていったらよいのか？子どもが大人になった時、本当に役に立つ力とは何か？といった問いに答えていかなければなりません。知識偏重の授業から抜け出すためには、まずは教師が「答えない問いに積極的にチャレンジすることが必要

**年**

頭に思う

国府台女子学院・小学部  
学院長 平田史郎

です。今年も、特色ある「カリキュラム」づくり・授業改善の推進に努めます。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでと〜うござい  
ます。昨年は各地で気象災害や地震  
等が起き心配いたしました。今年  
こそは皆が安穏と暮らせる年になり  
ますことを願ってやみません。

さて、前漢の李広將軍は戦地でも  
兵と同じものを食し、しかも兵全員  
に食事がいきわたる迄自ら口にする  
ことはなかったそうです。また、泉  
では先ず渴した兵に喉を潤わせた  
とも言われています。  
広く知られる「桃李言わざれども  
下自ずから蹊を成す」とは、かくも  
清廉な李広の人望を甘い桃や李に譬  
えて称えた司馬遷の言葉なのです。  
教育もその根本は教育者の人間力

**授**

業力

安田小学校  
校長 新田哲之

ではないでしょうか。  
もの言わざれども子供達が集まっ  
てくる。そんな教師を目指し日々  
精進したいと思しますので、本年も  
変わらぬご指導を賜れば幸いです。  
合掌

あけましておめでと〜うございま  
す。

安田小学校は、二〇一九年に創立  
一〇四周年を迎えます。時代は移り  
変わろうとも建学の精神「柔しく剛  
く」が、一〇〇年以上続いてきたこ  
とが喜びであり、これからも建学の  
精神を軸にぶれない教育を行って  
いきます。  
教育は社会の動向や要請、保護者  
のニーズを受けて絶えず変化するも  
のですが、時代のトレンドに左右さ  
れることなく、めざす子どもに向か

**"M**

astery for  
Service"

関西学院初等部  
校長 田近敏之

うビジョンと希望を持ってまいりま  
す。めざす子どもは、子どもと教師  
の真剣な授業から実現し、「授業が  
変われば学校が変わる」を信念に今  
年もスタートします。

新年のお慶びを申し上げます。  
新しい年も、関西学院初等部は、  
スクールモットー“Mastery for  
Service”（社会と人のために自ら  
を鍛える）の体現を目指します。  
このスクールモットーは「他者と対  
話し共感する能力」を持ち、「他者  
への関心や思いやり」に支えられる  
ことでその具現化が図られると思  
います。そのため、人と人のかかわ  
り合いを大切に、他者のために、他  
者とともに自らを鍛え、他者とも  
に歩むことのできる子どもたちの姿  
を目指して私たち自身も学び続け  
たいと考えています。「チームKG」

私たちは一つになって、そんな学校づくりに努めてまいります。今年もどうぞよろしく願っています。

**本**  
年もよろしく  
お願いいたします

サレジオ小学校  
校長 北川 純 二

本年もよろしく願っています。

さて、五月から新しい元号に変わりますが、昭和であろうと、平成であろうと、新しい元号であろうと、自然界の営みは変わらずに続いています。

しかし人間社会は人間が作ったしくみや決まり事、自分たちが引き起こした様々な事象に左右され、右往左往します。そのような人間の営みの中には避けられないことや必要なものもありますが、避けることができることや必要でないものも多くあります。

それらを見極める目を養うことが学校教育の大切な部分であろうと思

います。

新たな年も各校の児童・教職員の皆さんが心身ともに健康な日々を送られ、大切なものとそうでないものとを見極める目を養うことができま

すように。素晴らしい一年でありますように。

**世**  
界に通用する  
人物の育成

甲南小学校  
校長 祢津 芳 信

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

これからの不透明な時代を生き抜く逞しさを身につけ、健全な常識を持った世界に通用する人物の育成を目指します。

本年も、授業改善や、学校行事への参加の仕方など、子どもたちが主体的・対話的で深い学びができるよう取り組んでまいります。

また、そんな取り組みの手助けの一端を担う、ICT環境のさらなる

充実やICTの活用を行ってまいります。

少子高齢化の時代だからこそ、ますます学校教育の質が問われてきます。一人でも多くの方々に選んでいただける魅力ある学校作りを、さらに進めてまいりたいと思います。

徳・体・知のバランスのとれた、心豊かな人間教育を行ってまいります。

本年もどうぞ宜しく願っています。

**本**  
物に触れる  
感動体験

菅生学園初等学校  
校長 丹 治 充

新春のお喜びを申し上げます。本校は東京西多摩、都立草花丘陵自然公園に隣接した自然環境豊かな地に「学びの城」があります。広大なキャンパスでは児童の輝く未来を切り拓く感動体験教育を推進しています。

折々の自然の変化を通し動植物の

「いのちの営み」を学びます。天然記念物指定のモリアオガエルやトウキョウサンショウウオなどの観察や農作物の栽培や収穫を通してみずみずしい感性を育てています。また、グローバル化の中でオーストラリア姉妹校との相互訪問による英語授業体験、IT機器を活用した日常の授業、新たにプログラミング学習を加え、論理的思考力や表現力を培い、深い学びを通して楽しく学んでいきます。本年も宜しくご厚誼ご指導の程お願い申し上げます。

**着**  
実な前進を  
目指して

徳島文理小学校  
校長 長 井 明 福

新春のお喜びを申し上げます。

いろいろな意味で、時代が大きく変わろうとしています。この新春も平成最後となりました。

二〇二〇年には、新教育課程の完全実施、大学入学共通テストの導入が行われます。そして、二〇二〇年

は、学校法人村崎学園にとりましても創立百二十五周年を迎えます。

今年、年号も変わり、国をあげ祝意を表す記念すべき年となります。そうした中、徳島文理小学校も、この四月には開校三十六年目を迎えます。これも日私小連をはじめとして関係の皆様のご指導の賜と感謝申し上げます。

大きな「変化」の中で、私たち私学は、堅持すべきものをさらに大切にしていかなばならないと考えています。つまり、建学精神です。本校では、「自立協同」をもとに、校訓を「正しく 強く 美しく」と定め、知・情・意・体の調和のとれた、国際性に富み人間性豊かな人材の育成を目指しています。

年頭にあたり、改めて再確認して着実な前進を目指してまいります。



### 依り添うちから

東京三育小学校  
校長 平田 理

新春のお慶びを申し上げます。社会の様々な事柄が効率化を軸にして進められて行く時代が増々加速して

いきます。世界はインターネットで繋がり、人々のコミュニケーションも加速し、複雑化しています。「いつでもつながれる」は、「つながれない」や「わかりあえない」疎外感も同時に広がります。学校では正解や目的に近づくための最短距離が「正解」とされますが、子どもたちは、誰もが納得するような「正解」の無い問題や課題が山積する中を生きなければなりません。夫々に「相応しい答え」を求め続け、歩み続けるには、遠回りや寄り道、時には足踏みが必要でしょう。そんな中でも依り添い、励ましてくれる存在は必要不可欠です。三育は今年も、誰かに依り添うことをいとわない子どもを、世の中に送り出します。

### 役に立つ人材より、心の温かい人柄を

聖ステパノ学園小学校  
校長 小川 正夫

「過去を忘れるものは、未来を失う」

「過去は変えられないが、未来は努力することによって、変えることができる」という言葉が私は好きです。二十世紀の世界は戦争の時代だったように思います。百年前、四十年間近く続いた第一次世界大戦が終戦、二度と戦争の惨禍、悲劇を繰り返すまいと心に決め平和を願いましたが二十年後には、四年間にわたる国家総力戦となる第二次世界大戦が続き数えきれない人が亡くなりました。

迎えた二十一世紀こそ平和な世界をと願っていますが、様々なかたちのテロ行為や紛争、戦争が後を絶ちません。子ども達には平和な世界を預けたいです。国家や社会や企業に役立つ人材の育成というよりも、お

互に相手を思いやる温かい人間性が求められるようになると思います。

### 国際社会に貢献する児童の育成をめざして

英数学館小学校  
校長 藤井 良明

新年あけましておめでとうございます。

英数学館小・中・高等学校を運営する広島加計学園は、「自らの天分を最大限に伸ばす」を建学の理念に掲げ、先進的なグローバルスタンダード教育の充実をめざしております。二〇一七年の六月、高等学校は、国際バカロレアIBDP（ディプロマプログラム）の認定を受け、取組みを一層充実しております。小学校は、イマージョンプログラムを導入して十三年目を迎えます。二〇一五年九月、IBPPY（初等教育プログラム）候補校になり、本年度、その認定に向けて確実な準備を進めております。具体的には、児童一人一人に「高い志」と「夢」を育みなが

ら、「国際社会に貢献する児童」を育成しております。

本年も、保護者の皆様や地域社会、関係各位の皆様のご期待に応えるべく、「チーム英数」を合言葉に、その取組みを充実して参ります。

**「共に学び合う」  
授業を目指して**

目黒星美学園小学校  
校長 小島 理恵

新春のお慶びを申し上げます。

今年、本校の設立母体である修道会「サレジアン・シスターズ」の宣教女六名が、遠いイタリアから来日して九十年目を祝います。そして、本校は創立六十五周年を迎えます。大海原を渡って届けられた創立者ドーン・ポスコの精神が、今も根を伸ばし続けていることを感謝しつつ、今年も子ども達と共にいながら、子ども達のために力を尽くして参る所存です。

数年前より、「共に学び合う」授業を目指して、学年部または教科部

での研究を重ねて参りました。まだまだ力不足ではありますが、教員一人ひとりが良い授業を展開することができるよう努力しているところであります。この努力が豊かな実を結ぶことを願っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

**根  
つこを鍛える教育**

帝塚山小学校  
校長 池田 節

昨年六月に、文科省と通産省が相次いで将来の教育の在り方についての提言を発表しました。二つの提言は、どちらも同じようなキーワードが示されています。

「EdTechによる個別最適化学習」「民間教育産業の参入」などは、今までになかった将来像です。我々私学は、こうした世の中の動きに敏感に対応し、未来の子どもたちの力になるものは意欲的に取り入れていくべきでしょう。

しかし、それとともに、「学ぶこ

との楽しさ」を知り、「地球市民としての自覚」を持ち続ける子どもたちを育てるといふ、世代を越えたテーマを見失わないようにしたいものです。

**心  
豊かなリーダー  
を育てる**

江戸川学園取手小学校  
校長 若林 富男

新春のお慶びを申し上げます。

茨城県初の「小・中・高十二年の一貫教育」校として開校した本校は、五年目を迎え一年生から六年生までの全学年が揃い、この三月に初めて卒業生を出します。卒業生全員が約一キロメートル離れた江戸川学園取手中・高等学校に進学します。

本校は子どもたちをグローバル社会で活躍する「心豊かなリーダー」に育てることを目指しています。人間形成の基本となる心の教育とリーダーシップ教育を展開するために、

名著「七つの習慣」をベースとする「リーダー・イン・ミー」のプログラムを、道徳の学習に取り入れています。これは自己リーダーシップを高めるもので、チームワーク力や率先力、問題解決力などを養い、その力が学力向上につながります。七つの習慣をつけることで、主体的・対話的にものごとを考えて自ら行動できるようになりませう。

「生徒の夢は学校の目標」それぞれの夢の実現に向けて努力を重ねる子どもたちを、今年も学校を挙げて応援していきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

**新  
年への抱負**

東海大学付属静岡翔洋小学校  
校長 小寺 建仁

新年、明けましておめでとうござ

います。  
本校は一九六七年四月、東海大学の創立者松前重義が目指す一貫教育の理想を実現すべく、建学の地であ

る静岡市清水区三保の地に開校し、二〇一二年に付属幼稚園とともに、学園の教育機関である大学（海洋学部）、同大学院、付属静岡翔洋高等学校、及び中等部が隣接する清水キャンパス内に新築移転しました。また二〇一六年度より校名を「付属小学校」から「付属静岡翔洋小学校」へ変更しました。

今後も東海大学の建学の地だからこそ実現可能となる、スケールメリットを最大限に活用し、創立者が掲げた一貫教育に対する信念を継承するとともに、世界に目を向けた、平和な社会づくりに貢献する逞しい人材の育成に邁進いたします。



新春のお慶びを申し上げます。公立小学校の教育活動の活性化が進み、私立小学校への就学が鈍化傾向を示す福岡都市圏で、小規模校の

本校は、学校経営全般を、建学の精神に因る教育の推進と危機管理の視点から常に捉え直し経営戦略を進め、なんとか定員を確保できるようにしました。

コミュニケーション能力の醸成が小学校教育全教科等の基礎であることから、アクティブ・ラーニングの実践を「聴き合い活動」と「ポートフォリオ評価」で図る教育活動により一十一年間継続しております。

教育課題は、次期学習指導要領の移行期に入りました「特別の教科道徳」の実施です。カトリック校として、聖書の教えをカリキュラムに反映させる「ねらい」で取り組むため、宗教教育と道徳科の関連化、融合化を図る授業研究・カリキュラム研究に外部講師を招いて取り組んでおります。

経営課題は、発達障がい懸念される児童の入学に伴い、「集団での学びを大切にしながら、個の成長を支援する」学校・学級づくりの推進です。

創立五十二年目の小さな一歩です。一学年一学級の小さな学校ですが、本年も宜しくご交誼ご指導の程お願い致します。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

間もなく平成の世も終わり、新しい時代の幕開けです。そして、教育界も間もなく新しい時代に入ろうとしています。すでに移行措置期間に入り、先行実施している内容も多いことですが、さらに再来年度からは本格的な新学習指導要領の実施になります。学習指導要領が新しくなるから教育が変わるのではなく、社会が変わるから教育内容も変えていくというものなのでしょう。しかし、私たちの目の前にいるのは、今も昔も変わらない「子ども」です。この子どもたちが成長していくための手助けをしているにすぎません。社会で変わること多くても、この教育では変わらずに残さなければならぬこともたくさんあります。大きな社会変動の世中だからこそ、私学が



教育の本質を訴えていきたいと思います。本年も皆様にとつてよい年となりますよう、お祈り申し上げます。

**次**  
代をリードする  
教育を目指して

国本小学校  
校長 小林省三

次代は第四次産業革命の時代といわれている。ロボット開発の進化、豊かな仮想体験等から、文化・経済・社会はさらに変化するのであろうか。そして、習得しにくいといわれている日本人の英語は第二の母語となるであろう。なぜなら将来は幼児教育からの英語導入で、年少・年中・年長あわせて九年間授業が予想されるからである。「英語四技能は幼児教育で素地を培いましょう」となる、小学校はその基礎づくりと応用であり、CEFR A2レベルまでいけそうである。私学は国の施策の一步先に行く教育と経営が求められていることは当然である。本校は幼稚園を併設している。国際コミュニ

ケーション力を育むことに傾注し、日本の将来を担う子どもに英語をはじめとして全教育活動を通して実践していく年にする。

**新**  
年を迎えて

追手門学院小学校  
校長 井上恵二

新年あけましておめでとうございます。

本校は昨年創立一三〇周年を迎えました。お陰を持ちまして大阪城ホールで一人のお客様を迎えて法人全体の式典を執り行うことができました。長年支えて頂きました日私小連の皆様には心より御礼申し上げます。

一三〇年の歴史は決して平坦な道ではありませんでした。戦後まもなくには存続の危機もありました。しかし、先人がそれを乗り越え、教育を追究し今あるのです。教育は一足飛びに成果が表われることはありません。日々の教育への情熱と努力が

一三〇年の歴史を創り上げたのです。新年を迎えるにあたり「積小為大」の意味を噛み締め一步を踏み出したいと思えます。三月には新東館メディアラボが完成します。そこで「伝統と革新」の教育を展開したいと存じます。

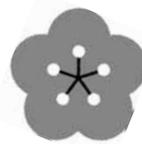
**時**  
代の先触れとなる  
私学教育

横浜英和小学校  
校長 磯貝曉成

来年、本校は創立百四十年という大きな節目を迎えます。本校はこれまでさまざまな体験を通して、確かな学力と豊かな情操を複合的に育むことを大切にしてきました。

新年度から四十五分授業となり、また週当たりの授業時間数を増加させ、シラバスの改編を行い、これまでに以上に時間をかけた丁寧な授業展開を行っていきます。

私学の中でも、とりわけキリスト教系学校の教育の特徴は、見えないものに心を留め、人間至上主義では



ない教育を行うことができるかどうかです。

今日の教育の課題は、現代社会を混迷に陥れている目に見えるものへの執着や物の多寡だけですべてを押し量る価値観を見直していくことです。そして、一人ひとりがその命を生きる意味を大切にしていくことを教育の根底にあらためて据えることが重要であると考えます。

私学がこの価値観の下に、次世代への教育のイニシアチブをとる時が来ていることを痛切に感じます。

**神**  
人と人から愛される  
人づくり

広島三育学院大和小学校  
校長 田 淵 裕

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、七月の西日本豪雨の被害を受けましたが、人的被害はなく、今まで「当たり前」だと思っていたことへの感謝の気持ちを改めて持つことができました。また、被災した

際に関係機関をはじめ、多くの方々からのご支援を賜り、また励ましのお言葉を頂きましたことを重ねて感謝申し上げます。

旧年は海外の国々だけでなく、日本国内においても不安を隠せないような出来事が数多く起きました。そのような時代に生きる子どもたちが、聖書の教える変わることのない指針と奉仕のためのスキルを身につけ、これからの時代を担っていくリーダーとして成長していけるように取り組んでまいります。

本年もご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

**平**  
成最後の…

ノートルダム学院小学校  
校長 川 端 博 之

明けましておめでとうございませう。昨年は、行事のたびに「平成最後」と意識し、丁寧に実施してまいりました。元号がかわり新しい時代となる今年、新たなチャレ

ンジをする良い機会でもあります。伝統を重んじ、大切にすると共に、子ども達のために必要な新しいことを積極的に取り入れたいと思いません。子ども達が大きく成長する大事な小学校時代に、きちんと見守っていく責任があります。「神を敬い、自分も人も大切にすること」「よく考え、自ら学ぶ子ども」「健康でいきいきとした子ども」の育成を本年も教職員一同一丸となって、指導していきます。

**識**  
別する知恵と勇氣

青山学院初等部  
部長 中 村 貞 雄

今話題の「スマートスピーカー」。テレビコマースシャルでやっている通り、便利ですごいスピーカーです。音声だけでリモート操作ができ、話せば話すほど語彙が増え、話し方や好みを学ぶそうです。一方で機械と会話することに違和感があると言います。会話には、知識とともにその

人の思考や感情があります。その言葉に込められた思いもあります。顔の表情や回りの雰囲気もあり、それらを読み取る、聞き取る、感じ取る力も必要です。さて、どこまでAI（人工知能）には、それらを備えられるのでしょうか。

AIやICT機器の発達には目覚ましいものがあります。当然、これからの私たちの生活や学校社会にも益々大きな影響があると考えています。だからこそ、一方で変えることのできるものと、変えることのできないものを識別する知恵と勇氣が必要であり大切になると思っております。本年もどうかよろしく願い致します。

**不**  
易と流行

岐阜聖徳学園大学附属小学校  
校長 桑 原 常 晴

教基法に定めてある教育の目的は「人格」の完成。そして、目標は、「幅広い知識と教養」「豊かな情操と道

新年の門出に、子ども達へのより良い指導を目指す事を誓います。そ

**一一〇一九年のご挨拶**

ぐんま国際アカデミー初等部  
校長 トウビアナサテレシタ

徳心「健やかな身体」を養うこと。そして、「生きる力」も、学校教育の「不易」の部分。また、今回の学習指導要領にある資質・能力の三つの柱は「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」。さらに、「主体的・対話的で深い学び」。どれも、先人が目指してきた教育の「不易」の部分です。そこで、『流行』を考えると、新たな時代、Society5.0を迎えようとしている今、「先端技術の活用によりすべての児童生徒に対して質の高い教育を実現」することだと思います。教育の不易と流行を考えながら、今年も「楽しい学校」を目指していきます。

新たな思いで二〇一九年を迎えま

**新しい年を迎えて**

晃華学園小学校  
校長 田島亮一

のためには、教育に携わる我々が、子ども達の可能性を信じ続けていく事が大切だと考えます。時には、教師が一丸となり、子ども達の抱える問題に気が付かなければならない難しい場面もあります。そういう時は、仲間と協働するようになっています。学校とは繋がり場です。良い教師との出会いで、問題を抱える子どもも学校に通うようになります。本校の先生方には、子ども達と実際に繋がる事を心がけてもらうよう伝えていきます。教師が人との関係を大切だと信じ、人との繋がり力を信じていられれば、何事も解決できると考えます。本年も、子ども達に夢を見る力や希望を与えていけるよう努めていきます。



した。新学習指導要領の移行期間であり、また、私学の厳しい経営状況の中で、本校がどのように進むべきなのかが問われる年になることを自覚し、今年も進んで参ります。そのために、カトリック学校としてカトリックセンスを伝える学校でありたいと思っています。初等教育の基本は、どれだけ子どもたちに、溢れるほどの神の愛の実感を与えられるかが勝負です。学校の中で子どもたちに、「この「神の愛」という「カトリックセンス」を伝え、育む教育を実現することで、本校の本来の歩むべき姿が見えてくると確信しています。「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」という御言葉が実現できるように、本校の教職員全員で子どもたちをサポートして参ります。

んで参りたいと思います。

二〇一九年(平成三一年)がスタートしました。五月から改元することが決まっています。昭和生まれの私にとつて、二回目の改元です。昭和六年、中村草田男は二〇年振りに母校の小学校付近を歩いて、降る雪や明治は遠くなりけり」の句を残しました。自分が通っていた当時の黒緋に高下駄と比べ、校門から金ボタンの外套を着て出てきた子どもの姿を見て詠んだそうです。長年、小学生を相手にしている教員にとつては「隔世の感」はあまり感じません。ただ、AIの進化などめまぐるしい社会の変化を考えると、今年も、「昭和」を振り返りながら歩んで行きたいと思えます。学校教育で変わってきたもの、変わらないもの、変えてはならないものなどを念頭に取

**新しい元号と学校**

千葉日本大学第一小学校  
校長 石井和生

五〇年経っても  
変わらない

東洋英和女学院小学校  
部長 山本香織

昨秋、小学部で開かれたある同窓会に同席しました。卒業五〇周年の皆様です。旧校舍当時は地下でしたが、今は明るく広くなった二階の食堂が会場です。

友や恩師との再会への歓喜もさることながら、小学部に足を踏み入れるのは五〇年ぶり、という方たちばかりです。「なつかしい」、「すてきー」などの歓声しきりです。

校舎をぐるっと見学後、最近の学校を紹介できるDVDもご覧に入れました。画面が終わった瞬間思わず、「いい学校ねえー。」

よそのレストランが会場ならそこまでなかったであろう、皆様の母校への愛と誇りの再燃、学院標語「敬神奉仕」が心に宿り続けていることが感じられました。

目の前の小学部生たちに、五〇年経った時も変わらない確かなもの

を、この年も伝え、育てて行きたいです。

陰徳を積む

国立学園小学校  
校長 児玉宏之

本校には、プールがあるのですが、六、七月しか使用しません。それ以外は、プールの方に子どもたちが立ち入ることはできません。そのため、コーンとバーで立ち入れなくしています。私だけは、幼稚園との行き来で使っている通路です。

ある日、そのバーが外れていました。私が通りかかると、私のことに気がつかない女の子が、そっとバーをもとに戻してくれていました。誰かに言われてやったことでもなく、また誰かにほめてもらおうと思っ

たことでもありません。このような行為を「陰徳を積む」というのだそうです。人が見ていないくても、よいことができる子どもたちであってほしいと願います。そし

て、こんなことがしつかりできる子どもたちをたくさん見つけていく一年にしたいと思います。

今後に生かす決心

城星学園小学校  
校長 亀谷和廣

新年明けましておめでとうござい

ます。昨年は、六月一八日の通学・通勤時間帯に、大阪府北部を震源として、最大震度六弱の地震が発生しました。また、六月二八日から七月八日頃にかけて西日本を中心に豪雨が襲い、甚大な被害と犠牲者が出ました。さらに九月四日には非常に強い勢力の台風二十一号、九月三〇日には、同じく強い勢力で二四号が列島を襲いました。この異常ともいえる気象状況に脅かされた年となってしまいました。私立学校においても、校舎などへの被害が報告されています。先生方の学校はいかがでしたでしょうか。案じておりました。

このようなことから、安心・安全に児童が通える学校作りにさらに取り組んでいかなければならないと、教職員一同心新たに危機管理に再確認を行っていらっしゃる所であり、常日頃から設備の安全確認を怠らないこと。安全に速やかに対応できる訓練を行うこと。教職員の防災への認識を高める研修を今後も続け、遭遇した苦しい体験が決して風化するこ

自ら羽ばたく力を  
身につける学校

沖繩ミックスインターナショナル小学校  
校長 安居長敏

新春のお慶びを申し上げます。多くの親が、わが子の幸せを願って「あれしなさい、これしなさい」「こっちの方がいいわよ」と一生懸命声をかけをします。でも、それってほんとうに子どものためになっているのでしょうか？ 将来、子どもがどんな環境で、どうという人生を歩んでいるかなんて、

誰にもわかりません。

子育てで必要なことは、「お母さんやお父さんはこう思うけど、あなたはどう思うの?」と、問いかけることだと思えます。

アミークスでは、学校や大人の役割は、子どもたちが得意なことを見つけ、自ら学んでいくお手伝いをすることだと考えています。

子どもたちがめざしたい「何か」を見つけたとき、そこに向かう道筋と一緒に考え、ともに歩んでいきたいと思っています。

今年もよろしくお願いいたします。

**品性を育む**

沖繩三育小学校  
校長 小原 義 信

新年を迎え、そして新しい年号に変わる今年、どんなことが待ち受けているかワクワクします。しかし、今日何が起ころうともおかしくない不安な時代でもあります。昨年日本を

襲った多くの災害は、人類が産み出した文化、文明、財産のはかなさを感じさせられました。一五年ほど前、三育グループの初期の指導者が書いた「教育」という本には次のような一節があります。

『世界で最も欠乏しているものは人物である。それは、売買されない人、魂の奥底から真実で、正直な人、磁石の針が南北を指示して変わらなように、良心が義務に忠実な人、天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人、そういう人である。』

あの赤いつなぎ姿の「スパーポランティア」を思い出します。

どんなことが起ころうと、人のために尽くす心、人に必要とされ喜ばれる姿「品性」は、永遠に続くものです。「品性を育む」という本校の建学の精神は、何が起ころうともおかしくない時代を生きる子どもたちにも、今必要であり、永遠に至る教育でもあります。



**森は海の恋人**

捜真小学校  
校長 新藤 啓 二

新春のお慶びを申し上げます。

私立小学校の教育を担う皆様に支えられ、ご一緒に平和な新年を迎えられますことを心より感謝申し上げます。

昨年の特別講演会に宮城県気仙沼で牡蠣の養殖をしている畠山重篤氏をお招きし「森は海の恋人」という題でお話をさせていただきました。牡蠣を育てるためには、森に木を植え続ける必要があること、それも毎年二千本の落葉樹を植え続けているというのです。牡蠣養殖は二〇一一年の津波の影響を受けましたが、二年後には牡蠣の餌になる植物プランクトンがしっかりと海に注がれていたそうです。それは森に木を植え続けてきたおかげだと説明されていました。畠山さんの話を聞いて、これから「愛の心の教育」も捜真教育である「愛の心の教育」

を大切にしつつ、児童たちの心に木を植えていく作業をこの新しい年も進めていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

**年頭所感**

洗足学園小学校  
校長 吉田 英 也

新年おめでとうございます。本年もよろしくご指導のほどお願いいたします。

私は、一〇年前に併設の中学高等学校から異動してきました。小学校教育のことをよく知らないまま校長になってしまったようなところがあり、児童、保護者、先生方に申し訳ないような気持ちを抱えながらの一〇年だったように思います。いつも周囲に助けられながらの学校運営でしたが、毎月発行する学校だよりだけは、毎回欠かさず自分で書いてきました。保護者の方から、いつも楽しみにしていると聞かれることも

あり、嬉しいような恥ずかしいような気持ちです。ただ、考えてみるとこの学校だよりは、保護者に向けてのメッセージというだけでなく、自身の考えをまとめたり深めたりする営みだったのかも知れません。これを書くことで私自身も成長できたように思うからです。保護者のため、今年も少しでもお役に立つような記事を書いていきたいと考えています。

**日**  
日本一の学舎を  
目指して

水戸英宏小学校  
校長 田中久美子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年もよろしく願います。本校を統括する学校法人緑丘学園には、水戸英宏愛宕幼稚園・平須幼稚園、水戸英宏小学校・中学校があり、幼小中一貫連携教育を推進しています。

本校は、日本一の学舎を目指す「学力特化の小学校」として、幼小中一貫教育に取り組み、首都圏の難関校や

県内トップレベルの高校への進学を目指します。開校以来「進学重視型教育」を推進し、特色あるカリキュラムのもと「高度なことを 楽しく確実に」をモットーに、徹底した学習指導を展開しています。

校名「英宏」の由来、「児童の優れた才能・資質をひろく・大きく伸ばして」いけるよう、全教職員が一丸となって英宏の教育を推進してまいります。

**初**  
心を忘れず

常葉大学教育学部附属橘小学校  
校長 勝俣元雅

「橘は実さへ花さへその葉さへ枝に霜降れどいや常葉の樹」我が校の名前は、聖武天皇御製のこの和歌からいただいています。この和歌にあるように、霜が降りたとしても、いつでも青々とした葉を繁らせ、純白な花を咲かせて、黄金の実を結ぶ橘のようにどんな困難があっても負けないようがんばっています。

きたいと思います。

「自分よし、相手よし、みんなよし」の「三方よし」の精神を大事にし、「確かな学力」、「たくましい心身」、「豊かな心」を育てていきます。また、「少人数学習」、「英語学習」、「オーケストラ学習」など特色ある教育を全面に出し、さらに、より高きを目指して教育活動を行ってまいります。本年も御指導のほどよろしく願っています。

**幼**  
小合同研究と  
私たちの教育で  
めざすもの

和光小学校  
校長 北山ひと美

幼小合同の公開研究会を開催して五年目になります。教科教育を中心に研究活動を進めている小学校と、子どもの生活、遊びとその環境を意識してきた幼稚園は、今年は初めて幼小で一つの分科会を持ち、幼小合同での保育研究、授業研究を何度か行うことができました。キーワードは「安心できる生活、クラス、授業

づくり」。初めての集団生活を体験する三歳児が先生、友だち、幼稚園に少しずつ慣れ、幼稚園の中に居場所を見つけていく姿、友だちどうしの関係の中で葛藤しながら自分がやりたいことを見つけ夢中になっていく四歳児の姿に、小学校での集団作りが重なります。技術工作科では休み時間ももの作りに夢中になっていく子どもたちが教室とは別の顔を覗かせ、音楽の授業を通して子どもたちが関係を深めていく様子が、幼児期から学童期への発達という筋で見えてきました。これからも、子どもたちの知的好奇心を刺激し、活き活きと学び生活することができるための教育作りを進めていきたいと思

**年**  
頭所感

学習院初等科  
科長 酒井竹雄

新年、明けましておめでとございます。

今年の五月には、平成から新しい元号の時代が変わります。新しい時代になっても学習院初等科では、百四十一年の歴史と伝統に培われた教育理念である「質実剛健」「自重互敬」の教えを大切にするとともに、新しい時代のニーズにもこたえていきます。そして、児童の「生きる力」を育てるために、「観察力」、「予測力」、「判断力」をより一層高めることにも力を入れていきます。

また、歴史と伝統に育まれた学習院初等科教育の魅力を今まで以上に、多くの方々に知っていただけるよう様々な場面で発信していきます。本年も先生方のご健康とご多幸、各私立学校のますますのご発展を心からお祈りいたしております。



平成最後の新春のお慶びを申し上げます。

日出学園は昭和九年市川市在住の有志が、皇太子殿下（今上天皇）のご誕生を奉祝するため、特色ある学園を創設して理想的な児童教育をしようと計画しました。これまでの画一教育を打破し、少人数の学級で家庭的雰囲気の中にあつて個性を伸ばすような幼児・児童教育を目指して学園を創立しました。力強い日の出の意味からも日出学園と命名し、昭和九年四月に授業を開始しました。今上天皇がこの五月には退位され、年号が変わります。しかし、建学の精神と校訓は不易として代々卒業生・保護者・教職員にこれからも根付き、西條八十作詞、山田耕筰作曲の学園歌を声高らかに歌い継がれていくものと思われれます。



今年も卒業生が社会の中で個性豊かに生き抜いてくれることを願っています。



新年おめでとうございます

コンピュータの発達は、人間の社会や生活を変え、その変化のスピードはとて速く予測がつかない時代になりました。最近では、AI（人工知能）の登場により将来なくなるかもしれない職業が話題になりました。

知識・技能の習得だけを考えたならば、AI（人工知能）を使った個別学習は最適かもしれません。しかし、道徳性や社会性の発達、学ぶことの意味を伝え意欲を引き出すこと、本人が意識しない可能性を広げ励まし導くことなどは、人と人との直接的なかわりが必要ならば難しいでしょう。

AIが教育の強い味方になる時、私学の独自性、建学の理念とそれに基づく感化の力がますます求められるようになります。そのための教育

の深化を目指す年にしたいと考えます。本年もどうぞよろしく願います。



新年明けましておめでとうございます。

新校長としての年を無事乗り切り、お陰様で新しい年を迎えることができました。

本校は、二〇二二年に創立百周年を迎えます。今までの百年を振り返り、何を残し何を発展させていくのか、そして、次の百年に何を創り出していくのか、次代を担う若い教員たちにいろいろ考えてもらっています。

これまでの百年は、関東大震災や太平洋戦争などの困難を乗り越え、日本経済の躍進とともに発展してきました。その間、個性を尊重する教

育を目標の一つとして掲げてきました。これからもひとりひとりを大切にしたい教育をさらに充実させていきたいと思えます。

**亥**  
年の意味を  
踏まえて

さとえ学園小学校  
校長 下平孝富

明けましておめでとうございます。恙無く新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も、十二支という亥年。「亥」の漢字の意味「じつと固い種の中でエネルギーを蓄える」のように、個人としては知識をより蓄え、組織としては中身を充実させることで「人間是宝」の建学の精神を礎に「未来の宝」である子どもたちの才能の発見と研鑽に、旧年以上に邁進したいと思えます。

世界情勢を見ますと、グローバル時代の終焉といえるような分断の動きがますます顕著となりつつあります。そんな世界で成長していく子どもたちには、利己主義に陥ることな

く広く寛容な心で他者を理解ができて人材に成長してほしいと願います。末筆ながら諸先生方におかれまして、良き年となりますようご祈念申し上げます。

**新**  
年を迎えて

武蔵野東小学校  
校長 木村修二

今年も引き続き、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

日本人のお正月は、大晦日の夜に採った「若水」と呼ばれる水で、年神様を迎え入れることから始まります。神棚に捧げ、この年の初めてのお茶やお料理に使うのです。

旧暦で生活をしていた頃は、当たり前のように「若水」は「寒の水」でした。大地の下でうごめく春の鼓動を感じて、神々しいくらいに有難く、身にしみたはずです。暦は、季節が教えてくれるものであって、今のようにきちんと決まったカレンダーや時間感覚ではありません。ふ

んわりと柔らかく、太陽と月が示してくる時の移り変わり。それに呼応するかのように、大地が静かにその時を受け入れてくれるのだと思えます。

これからの時代は、多様性が求められる、情報過多の時代に生き抜いていく子どもたちは、正しい情報を取捨選択し行動に移していかねばなりません。学校で教えることには限りがありますが、子どもたちにとって、豊かな人生が送れる基礎をしっかり学ばせていかねばならないと、身が引き締まる思いです。

今年もどうぞよろしく願います。

**高**  
い英知と豊かな  
人間性を育てる

智辯学園奈良カレッジ小学部  
校長 藤田良一

新春のお慶びを申し上げます。

今年己亥（つちのこ）です。十干の己は、植物が成長し整っている状態を表し、一方の亥は、植物

の生命の力が種子の中に閉じ込められている状態を表します。したがって、己亥の年は、「今現在の状況を維持し、守りの姿勢に徹した方がよい」と言われています。

平成が終わり、新しい時代が始まります。ぶれない、ゆるがない教育をこれからも続けることによって、新時代を切り開く高い叡智と、豊かな人間性を備えた人材を育成することが、新しい時代を築く基礎となり、それが本校の大きな使命であると考えています。

「感謝」の心と「相互礼拝・相互扶助」の精神を養い、社会に貢献できる人間を育てることで、さらなる飛躍を目指してまいります。

**自**  
分らしく

平和学園小学校  
校長 橘明子

平和学園小学校は少人数の小さな学校です。豊かな自然に囲まれた環境で、ゆっくり流れる時間の中で過

ごす時を大切にしています。それは、児童期に心が解放され、自分らしい歩みを始めるためです。年頭の祈りは、子どもたちの日々の歩みの先に平和があること。さらに、大人も子どもも信頼関係を結びながらお互いを尊重しあう世界になることです。子どもたちの生活環境が速度を上げて大きく変化している現在、希望や目標を見失うことがないように、子どもの教育、成長を大人の私たちは守っていかなければなりません。子どもが自分らしく生きるため、小学校の教育の中で、様々な経験を積み重ね、より豊かな学びを通して、生きる力の応用力を身に付けてほしいと願っています。



本校には、その校風を愛し、そこで学ぶことを喜びとする多くの子供たちが集まるので、教師のきめ細や

かな指導によって、初等部六年間で心も体も大きく成長していきます。そして、受験勉強に煩わされずに中・高等部に進み、文武両道に励み、将来の目標をしっかりと持ち早稲田大学に進学します。本校での十二年間で、世のため人のために自ら汗を流すことができる、心優しい人材を育成し、調和のとれた人間教育を目標としています。初等教育では、教師が児童に与える影響には大きなものがあり、本校の全教職員は児童・保護者の皆様と誠実に向き合い、将来社会に多くの貢献をなしうる人格の育成に向け、全力を尽くしてまいります。



新年の抱負は、「一人ひとりの、幸せな子ども時代のために」、学校や社会の創造です。一人ひとりが現在を充実させて生きること、その人

らしく生きることを大切にします。子どもは、かけがえない存在です。一人ひとりを主人公とした学校でありたいと願い、「子どもを原点にした教育の実現」「社会の主人公となりゆくための根っこを育てること」を教育目標とします。学園の教育理念として、一九四七年制定教育基本法(深くかかわったのが初代理事長・校長の務台理作氏)の精神、「一人ひとりの人格を尊重し、自主性を養い、個性を伸長するという、ヒューマニズムに立つ『人間教育』」をもちます。この精神を大切に、学校を人間が育ち合う場にし、社会づくりをすすめていきたいです。



明けましておめでとうございませす。皆様の多大なるご支援により、新たな年を、ここに迎えられますことを心より感謝申し上げます。

社会全体がどのように変化しても、建学の精神「和」のもと、礼法教育・明和班活動・会食等の独自の教育カリキュラムを通し、ぶれず揺るがない教育実践を続けることにより、一人ひとりが、かけがえない自分の可能性を發揮し輝けるよう、そしてお互いによさを認め合い支え合えるよう、知的向上にとどまらず人間としての成長を目指し導いてまいります。子どもの伸びる姿こそが学校の宝です。



明けましておめでとうございませす。

教職員一同知恵を出し合い、よりよい教育実践を創造し、自らの力で未来を切り開く高い叡智と心豊かな人間性を備えた、新たな時代に羽ばたく子どもたちの育成に邁進してまいる所存です。

今年の干支は「いのしし」漢字は「亥」があてられています。「猪突猛進」という言葉が思い浮かびますが、目標に向かいまっしぐらに突進するイメージから、勢いのある年になると言われていきます。確かに、平成最後のお正月から新元号にバトンタッチする今年は、勢いがなくてはならない年です。

昨年は「平成最後」を枕詞にしたイベントなどがたくさん行われました。今年は新元号に向け、また新元号の中で新たな出来事が次々と起こり、二〇二〇年オリンピックの年へと、そして学校現場ではプログラミング教育始動へと進むことでしょう。

今年も、今を生きる子ども達の未来を見据え、「いのしし」の速さを大切にしながらも、一步一歩着実に歩みたいと新しい年をスタートいたしました。



新しい「節」

賢明学院小学校  
校長 中原道夫

時の「節」として、一分一秒があり、その積み重ねが一日となり、一月となり、一年となっていくのですから、児童に一日をどのように生きるかという課題を、年頭にどのように伝えようかというのが、毎年悩む事の一つとなっています。時代の変化という言葉をも、昨年は何回も耳にしました。具体的には人口減少という、経済成長にとつて最大の危機が到来すると言われていて、私立学校にとつてもこの事は、存続にすら関わってくる重大問題です。しかし危機を強調するよりも、危機を乗り越える可能性を信じる事、また危機を乗り越える力を備える事の大切さを、児童や教職員に伝えたいと思っています。時代の変化に対しては、時間を大切にし、訪れる危機にも誠心誠意向かい合う事が、必要ではないでしょうか。

前進

聖ヨゼフ学園小学校  
校長 荒屋勝寿

新年おめでとうございます。

二〇一八年一月、学園は、国際バカロレア初等教育プログラム（PYP）認定校となりました。子どもたちの学びが「世界標準」と認められ、創立六十五年目を迎えた学園の歴史に、新しい価値が刻まれました。大きな変化は、コミュニケーションを取り合いながら努力を重ねた教員たちの成果でもあります。その学びは、学園の基本精神である「この世の様々な問題を他人事にせず、自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人を育てる」ことを追求するものです。その過程で、子どもたちには、自己肯定感と自己効力感がより大きく備わってきたと感じています。

「信・望・愛」の精神を大切にし、「地の塩、世の光」として、よりよい社会を築くために活躍する子ども

たちを育て参ります。二〇一九年度は、聖ヨゼフ学園小学校のさらなる前進にご期待いただければと思います。

デメリットにも目を向けて

聖学院小学校  
校長 佐藤 慎

小学校での教育内容や教育方法を考えるとき、社会の変化にも目を向けることは当然必要です。学校においてICT機器を用いた教育を進めるのも必然といえるでしょう。

新しいことを始めるとき、そのメリットが強調されますが、同時にデメリットにも目を向けなければならぬと思います。例えば調べ学習においてタブレット型端末は威力を発揮します。けれども、すぐに調べることができるといふことは、考えるというプロセスを奪うという側面もあります。

新しいことを始めるとき、デメリットにもしっかり向き合い、その

対策を講じることによって、より大きな実りが期待できるのではないのでしょうか。  
本年もよろしくお願い申し上げます。

**新**  
たな年に向かって

光華小学校  
校長 長者美里

二十一世紀を生き抜く力は、知識の獲得だけでなく、それらをいかに活用するのか、しかも他者と共により良い考えを練り上げていくなど協働の場面の中で力を発揮していくことが重要だと考えています。学校法人光華女子学園八十周年を目前に、光華ならではの教育改革に取り組んでいます。総合学園で学ぶ学校大好き子どもたちは「光華ファミリー」のやさしい穏やかなまなざしの中で、のびのびと何事にもチャレンジしています。校訓「真実心」のもと、「思いやりのこころを世界に発信するグローバル人材の基礎の育成」を

めざし、新たな年に向かって教職員一同がっちりスクラムを組んで楽しく教育活動に邁進していきたいと思っております。今年もよろしくお祈りいたします。

**子**  
どもたちの  
未来に向けて

啓明学園初等学校  
校長 原田泰宏

幻想的に雪が舞う外を駆け回っていた道産子の私ですが、春の温もりも待ち遠しい日々です。  
「平成」がまもなく終わり、新たなステージとなり人工知能の進化やダイバーシティ社会も加速化していきます。当たり前と捉えていた環境から変わる時代において、変化に適応できる力や多様性を理解できる柔軟性を養う必要があると考えます。  
本校では、子どもたちが興味や疑問に感じたことを学ぶ楽しさを実感できるように工夫しています。特に、子どもたち全体で友だちの意見に耳を傾ける時間を設け、共に考え、共

感じながら、学び合うプロセスを大切にしています。  
世界に羽ばたく子どもたちが活躍する未来の環境を見据えた上で、子どもたちそれぞれの個性を大切に、豊かな心を育み、好奇心を引き出す環境を丁寧に作り上げていきます。  
本年も教職員皆で、子どもたちの笑顔のために努めてまいりますので宜しくお祈り申し上げます。

**年**  
頭のご挨拶

むさしの学園小学校  
校長 青木洋介

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
グローバル化、AI技術の進展と、社会の変化が話題です。今年、元号が改まることで、それをより強く感じる年になりそうです。  
その中で、私は、人と違う自分心安心できる環境作りに注力したいと考えています。時に応じて求められる素養は変わるでしょう。しかし、

確固たる自分があれば、常に充足感を持っていられると思うからです。  
幼稚園と小学校だけの私どもは、創立以来九十五年に渡って初等教育に専心してきました。大海原に行くには心もとなない古びた小船です。しかし、そんな私どもだからこその特徴に目を向け、お預かりした子ども達と、丁寧に毎日を過ごそうと思っております。

**A**  
I 頭脳時代を  
生き抜く

帝京大学小学校  
校長 星野昌治

いよいよ「平成」という時代の終わりを迎えることとなりました。AI 頭脳時代を生き抜く子どもたちの育成が最優先事項となります。本校では「高い学力と豊かな感性を育て、きめ細かな指導」を目指し、電子黒板を活用した授業やレゴブロックを活用した活動、辞書引き学習、

プログラミング教育、英語教育などを取り入れた教育プログラムを展開しております。次世代では新しい知識・情報・技術が、政治・経済・文化等で飛躍的に重要性を増す、「知識基盤社会」となります。ロボットがあらゆる場面で活用され、生活スタイルも大きく変わってきます。本校はそのための重要な基盤となる場所であり、「生きる力」を育むという理念を持って取り組みたいと思います。

**発**  
展の年に  
なりますように！

別府大学明星小学校  
校長 上村 もと子

新春のお慶びを申し上げます。いよいよ平成最後の年を迎えました。昨年の世相を表す漢字は「災」であったように、昨年は、記録的な豪雨や四十一・一度をはじめとする連日の猛暑など、「三十年に一度の異常気象」と言われる大変な年でした。今年こそは、穏やかで平和な年

でありますようお願いとところでございます。教育においては、新学習指導要領の完全実施を来年に控え、一層の充実が求められております。本年度も子どもたちの「主体的、対話的で深い学び」の追求に、職員一丸となって邁進してまいります。

今年は、亥年。亥年と言えば「猪突猛進」。目標に向かって力強く邁進する年にしたいものです。発展の年となりますよう、また皆さまにとつて、よい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

**新**  
しい年を迎えて

奈良学園小学校  
校長 梅田 真寿美

平成三十年度に創立十一年目を迎え、昨年十一月、幼稚園や中・高等学校と共に創立十周年記念行事を行いました。初年度の小学校一年生は、現在Y3（高校二年）生です。小学生から見ると、あこがれの存在にもなっていることは確かです。そんな

一期生を見ていると、高等学校を卒業し、大学を経て社会人としてきつと活躍してくれるだろうと、その姿を思い浮かべることができません。

目の前にいる小学校の子どもたちにこれからの社会を託せる土台となる力を培っていく間違いない学びの場が本校にはあります。これまでの十年で積み重ねてきたそれらの営みを振り返りつつ、さらに充実した教育の展開に向けて問い続け、粘り強く高みを目指して歩み続けていきたいと考えます。

**年**  
頭所感

金剛学園小学校  
校長 尹 裕淑

新年明けましておめでとうございます。本校は日韓両国から認可された学校であることから、これからも他国・異文化への理解とコミュニケーション能力を備えたグローバル人材の育成に重点を置いて取り組んでまいります。

ます。そのためにも、児童のひとりひとりが努力の成果を実感しながら、やる気につながる語学教育を実践してまいります。

また、本校が掲げる「すべての君が主人公」というスローガンのもと、競争原理が大きく支配する世の中にあつて、学力偏重に陥りがちな昨今の教育を今一度見つめ直し、子供たちの個性を尊重し、人と人との繋がりを大切にして相手を思いやることができる人間力の向上に重きを置いた教育にも取り組んでまいります。本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

**子**  
どもの笑顔と  
発信力を大切に

横浜雙葉小学校  
校長 田口 久美子

新春のお慶びを申し上げます。カトリック教育が大切に行っている「人は誰も神様から愛されている掛け替えのない存在だ」という考え方は、子どもだけでなく、保護者や教

職員全体にも当てはまります。「大切にされている人」は他人のことも大切にします。この大切の輪が広がれば、教室や学校全体が幸せの笑顔で満たされることでしょう。

これからの社会では、教育を受けるだけではなく発信する力が求められているので、そのもとになる言語能力及び思考力（伝える内容）を育て伸ばさなくてはなりません。本校でも、従来から力を注いでいる国語力に加えて、英語教育にも力をいれたいと思っています。子ども達が安心して楽しく学べる環境を整え、その笑顔と発信力を大切に育てたいと思います。



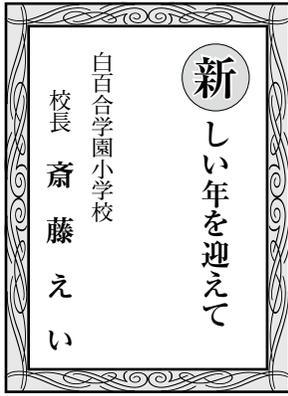
あけましておめでとうございます。関東学院は「人になれ 奉仕せよ」を校訓としています。キリスト教にもとづいた教育を行い、この校訓を

具現化することを目指しています。小学校卒業十年後に社会人となり、二十年后、三十年後に社会を担っていく年代になったときに、世の中に奉仕できる人材に、社会貢献のリーダーになってほしい。キリスト教に基づく人間教育により、他者のために奉仕する心を育てると同時に、その心を実行に移せる実行力の基礎となる学力を身につけさせたいと思います。社会ではグローバル化、ICT化が進み、さらにAIがどんどん進化していますが、そのような変化に対応するとともに、子どもたちには普遍的な価値観をもってほしいと願いながら二〇一九年の教育に臨んでゆきたいと思っています。



新年明けましておめでとうございます。日頃、日私小連の活動にお支え頂き厚く御礼申し上げます。

本校は百年以上前に女子を人として教育することを目標に創立されました。この間の社会変化は著しいものですが、果たして女性の地位は変化したのでしょうか。昨年の報道によるとまだ難しい面が残されているように感じます。学校に集う子ども達は、未来社会の担い手です。未来を生きる女性に必要な力を育てること、自分の学びを社会に還元する生き方を伝えること、この創立当初の理念を中核に置き、教職員が一丸となって教育に尽力して参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。



希望に満ちた新年を迎えまして、心引き締まる思いがいたします。昨年中に賜りましたご指導に心より感謝申し上げます。日ごろより、児童の純粋な心や可能性を秘めた素晴らしい力に心動か

されております。本年も、かけがえのない存在である全校生が周りの方々を大切に思い、よりよいものを求めて自分から行動し、明るく爽り豊かな日々を送ることが出来ますように願っております。

六月には、本校が東京地区教員研修会の会場校といたしまして多くの学びの機会をいただけますこと大変ありがたく存じます。皆様からのたくさんのご教示を何卒よろしくお願い申し上げます。



新年明けましておめでとうございます。鎌倉女子大学は大船キャンパス、岩瀬キャンパス、二階堂学舎、山ノ内学舎など鎌倉市内四箇所に施設があります。初等部は岩瀬キャンパスにあります。来年度は幼小中高の接

続を強固なものにし一貫教育の体制を整える元年としたいと考えています。そのために校舎の新築、改築をおこない地域で存在感のある学園として生まれ変わります。

初等部では「豊かなこころ」「確かな学力」「健やかなからだ」をバランス良く育てることを目指しています。学校教育の要は「教員の指導力」です。校内研修を一層充実させるとともに来年度も公開授業を毎日実施し、「授業で評価され選ばれられる学校」にしていきたいと考えています。本年もよろしくお願いいたします。



新春のお慶びを申し上げます。『精道三川台小学校の子どもたちは、知的で、さわやかで、カッコイイ』といういろいろな場面で子どもたちと話しかけ、保護者にも紹介してい

ます。知的とは、よく考えること。さわやかとは、常に前向きな考えで行動できること。カッコイイとは、困難を前にしても動じない強さがあること。

これら三つの資質を、一人ひとりの子どもがさらに磨けるように、様々な仕掛けを本校では実践しています。現代社会は、凄まじい速さで、グローバル化、複雑化していますが、社会の共通善のため、今の小学生も、『知的に、さわやかに、カッコよく』生き抜いてほしいと願っています。



というわけで、今年も、私の決意は、『知的で、さわやかで、カッコイイ 好々爺になること』  
年号が変わる記念すべき一年が始まります。新年のお慶びを申し上げます。

昨今、予測できないほどの大きな災害、そして人工知能の進歩による未来への不安など、子どもを取り巻く社会が大きく変化しようとしています。それを踏まえた教育はどのようにあるべきか、と考えた時に、創立者中村春二先生の教育理念の普遍性から大きな力をいただいています。創立百四年目になるこの一年も、多くの方のお力をいただきながら、迷うことなく人としての育ちを大切にしたいと、思っています。

私立小学校の益々の発展と皆様のご健勝を心より祈念いたします。本年もよろしくお願いいたします。



皆様、明けましておめでとうございます。平成最後の新年であり、恵明学園も箱根町小涌谷最後の新年を迎えました。恵明学園は、この地で

開園し、今年で七十年目を迎え、箱根町から宮ノ下の旧温泉小学校を借りし、四月から新たなスタートを切ります。旧校舎を改装して子どもたちの居住スペースや教室など全面的に作り直し、開園に向け急ピッチで工事が行われています。

国道一号線をわずか数百メートル下がるだけなのですが、学園にとつて大きな節目です。この地を去る一抹の寂しさはありますが、七十年間の歩を糧に色々な面で学園がより良く大きく変わろうとしています。今後も宜しくお願い致します。



開校十六年目のある日、「なぎさで学ぶとどんな子どもに成長するのですか。」と尋ねられました。「なぎさスタイル」といわれる独自の特色ある学習スタイル、「五感を養う・本物にふれる・文化を育む・季節感

を味わう」の成果をずばり聞かれて、「コミュニケーション力やプレゼンテーション力を身につけた子になりますよ。」と答えました。子どもたちが大人になる頃、世の中は進化し大きく変わっていくでしょう。今の学び方（表現力を磨きながら自分たちで考えて創りあげる学び方）が未来につながってほしい。そのため、一人ひとりの可能性の芽を大切に育てていきたいとあらためて心に刻んでいます。



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、四月より新学習指導要領の先行実施も始まりました。新たな取り組みも大切ですが、その一方で、私立学校がこれまでに取り組んできた、独自の外国語教育や宗教教育等、所謂「私学ならではの教育」に対す

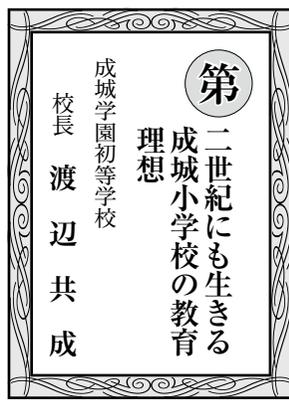
る期待も感じる一年ではなかったかと思えます。そのような中で、私共も、「神を大切にする」「自分を大切にする」「他者を大切にする」という教育理念のもと、より一層研鑽を積んでいかなければと、気の引き締まる思いです。

さて、昨年十月に、本学園の講堂が竣工いたしました。これまで、外部の施設や手狭な聖堂で入学式や卒業式などの学校行事をやってきましたので、広い講堂が完成して安堵しているところです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



成田山新勝寺の近くにある本校は、自然に囲まれています。毎日、新勝寺から聞こえてくる鐘の音と仏賛歌は、安らかな気持ちにさせてくれます。教頭に就任する前は全学年の音楽を教えていました。全校合唱

では、子ども達の視線が、指揮をする私の目に集まり、心と心を通い合わせながら歌いました。その時の子ども達の表情、目の輝き、歌詞に込められた思いを届けようと、一生懸命に歌う姿には、いつも感動させられました。一学年一クラスの小さな学校ですが、皆素直で、表現するところが大好きな子ども達です。先生方が毎日子ども達にかけてくれる愛情に感謝し、今年も、子ども達が、いろいろな体験を通して、頭や心を耕し、豊かな心を育んでいけるように見守っていききたいと思えます。



新年明けましておめでとうございませう。旧年中は、数多くの皆様方に、たいへんお世話になりました。どうもありがとうございます。本校は、今年九月から新校舎での学校生活が始まります。どうぞ、引き続き、よ

ろしくお願いいたします。  
一昨年に創立百周年を迎え、今年には「成城学園第二世紀」の二年目に当たります。そして、教育改革Ⅱ国際教育、理数系教育、情操・教養教育の三本柱の礎を担う、初等学校の教育環境整備事業が完了する年です。児童・保護者・教職員から成る三位一体の教育の下、「つながり」、「英語一貫教育」、「論理的思考力」をキーワードに、子どもたちの未来を見据えた「ここにしかない時間」を、新しい学び舎で共有していきたく願っています。



新年あけましておめでとうございませう。四ヶ月だけの平成三十一年、五月一日から新元号での時代になる二〇一九年・亥歳の幕開け。子どもたちにとっては、初めての改元、六年生にとっては、平成時代最後の卒

業式を迎えることとなります。

六歳人口が百万人台から九十万  
人台へ漸減し、十年後には八十万人  
台へ減少する新時代。その新時代を切  
り拓く子どもたちのためにも、永く  
久しく光り輝く母校であり続ける努  
力を継続することが今を生きる私た  
ち教職員の使命と捉え、精進して参  
ります。皆さま、本年もよろしくお  
願い申しあげます。



ふだんから空をよく見ます。学校  
行事が有る無しに関わらず、わけも  
なく、よく空を見上げます。

元来、風来坊のように呑気なので  
でしょうか。そんな私が、毎年この時  
期になると「春の空」を早々に見つ  
けることがあります。風は未だ厳し  
く、冬の匂いすら残っている、その  
後、雪が降ることさえあります。そ  
れでも自分が感じる「春の空」を発

見るとなぜか清々しい、うれしい  
気持ちになり、「いよいよ今年も始  
まる」という新たな感慨を覚えます。  
今年も、さまざまな場面で空を見る  
ことになるでしょうが、皆様にとっ  
ても、いい意味で「天を仰ぐ」瞬間  
が多くなることを願っています。  
本年も、どうぞよろしくお願い致  
します。



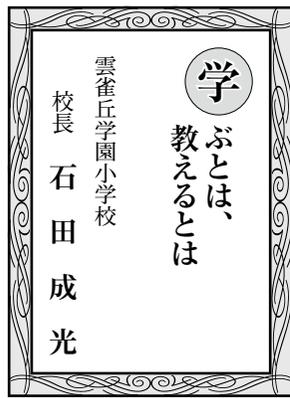
新春のお喜びを申しあげます。

新元号の始まりの年となりまし  
た。来年は「東京オリンピック・パ  
ラリンピック」、その五年後には「大  
阪万国博覧会」と、国際的行事の日  
本開催が続き、急激なグローバル化  
や情報化の波が押し寄せます。

千数百年前、遣隋使を派遣する等、  
グローバルな視野から社会を見通さ  
れた聖徳太子さまは、「和の精神」  
の教えを根底に据え、人々の幸せを

願う国家の発展に尽力されました。  
「物の価値」に目を奪われがちな今  
日の社会だからこそ、新しい時代を  
「人や心のつながり」に結びつけて  
いくことは大切なことです。  
いかなる時代においても、『ひと』  
が主役であることを肝に銘じて、近  
未来を生き抜く子どもたちを育成し  
ていくことが学校教育の使命だと考  
えています。

新年も、本校は『時代を超える。  
ひとよ、育て。』をコンセプトに、「猪  
のごとく邁進してまいります。  
本年もよろしくお願い致します。



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私の好きなことばの一つに、「学  
ぶとは誠実を胸に刻むこと。教える  
とは共に希望を語ること。」があり  
ます。ルイ・アラゴンというフラン



新年明けましておめでとございます。

**年 頭所感**

七沢希望の丘初等学校  
理事長兼校長 小島 富司

スの作家・詩人のことばだそうですね。このことばに出会うまでは、教えるということばは、極論すれば、自分が知っていることを知らない人に知らせ、わかったねと言ひ、その人に、はいわかりましたと言わせることだと思っていました。しかし、「えらい」教師が「未熟な」子どもに施す行為を教育と考えるのではなく、対等な人格・人権を備えた者同士が希望を共有することを教育だと考えると、教師の仕事の難しさや責任の重さと共に、仕事への誇りも胸に湧いてきます。

学ぶことを「誠実を胸に刻むこと」と定義していることでも、人間らしいまっとうな学びの大切さを教えてくれているようです。

この四月からの「働き方改革法」の施行を控えて、学校における働き

**多 忙であるからこそ 積極的に**

湘南白百合学園小学校  
校長 澤野 誠

昨年中は、特に『日私小連全国幹部研修会』に参加することができ、貴重な研修体験からの学びと共に、皆さま方と交流を深めることができました。ありがとうございます。

心より感謝申し上げます。

本校は丹沢・大山の麓に位置し、里地里山の豊かなみどりと暮らしと湘南の海を眺望できる自然／地域環境にあります。元気で健やかな子どもたちがその自然の恵みを受身しながら、自立から自律へ・夢や希望へ向けて・共に生きる教育を目指した学校づくりに取り組んでいます。

そして、今秋にはようやく開校十年目を迎える若初等学校ですが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

方が、大きくクローズアップされています。

多忙感の中、心が自分のことで一杯になり、目の前の相手の気持ちに思いが至らぬことを、しばしば反省する現状を思うと、改革の必要性を強く感じます。

同時に、よい教育をしようとすればするほど、時間も手間もかかるというのも事実です。どうバランスを取っていくのか、今年一年の大きなチャレンジだと考えております。

ところで、子供たちに掃除について、次のような話をします。

「掃除は大変です。嫌だなあと思うと益々大変になります。でも、みんなが、お友達のお二倍、三倍頑張ろうと思うと、体はそれだけ動かしているはずなのに、なぜか楽に掃除ができます。」

仕事もこれと同じではないでしょうか。どのような思いで仕事に向かうのか、心のあり方が問われています。子供たちのために、自分自身のために、全教職員が、積極的に仕事に取り組むことが、これからの学校づくりに不可欠な姿勢だと思っております。



すべては子どものために

昭和女子大学附属昭和小学校  
校長 柴田芳明

昨年四月に校長に就任し、一日一日の積み重ねで、新年を迎えることができました。昭和小学校は、今年創立六十六年目を迎え、昭和学園としては、創立九十九年になります。人間でいえば、白寿の祝いの年。創立百周年に向け、準備を進めていく年になります。

また、今年が平成最後の年であり、一方で新しい時代の幕開けの年でもあります。新しい時代への期待が高まる中、子どもたちが生きていくこれからの百年に備え、時代に捉われない生きる力・論理的思考力・グローバルマインドをどう身につけさせていくのか、再確認をする年ではないかと考えます。常に着実に、「すべては子どものために」を心にとめ、日々尽力していきたいと思っております。今年もどうぞ、よろしくお願いたします。

謹賀新年

聖坂養護学校  
校長 佐野明紀

日本水上小学校が、本校の前身です。「自分を愛するように、その隣人を愛せよ」とのキリスト教の理念により、神様の導きを受けて、水上生活者の家庭の子どもが教育を受けられるように創立されました。

その後、時代の変遷と共に水上生活者の子どもの教育から、弱い立場にあった知的ハンディキャップのある子どもの教育へと引き継がれ、横浜で最初の養護学校として開校しました。

スクールモットーは「神様に愛されている喜びの発露としての教育」、「神様からあずかっている賜を生かしあう教育」です。

この働きこそが、本校の使命です。新しい一年も、神様の愛を共感し、最も小さい者に寄り添いながら、歩んでゆきたいと思えます。

「AI時代」に必要な学力とは？

和光鶴川小学校  
校長 加川博道

幼稚園園長を兼ねています。先日、幼稚園のPTA連合会総会で東大教授の話をお聴きしました。その中で「これからのAI時代に必要なのは『木登り』と『ザリガニを飼える力』です」と語られていたのが印象的でした。どちらも「自分なりに考えて見通しを持つ」点でAIにはできないことなのだそうです。一方で「ルーティン」がはつきりしている、それこそ今はやりの「スタンダード授業」は「AI」の得意分野。「体験を通してみんなで対話し自分たちの頭で考え進めていく」学力なのか、「いわれたことを黙々とこなすだけの」学力なのか、未来を切り拓く力がどちらで育まれるのかは言うを待たないと思えます。

一年間の「沖縄学習」をくぐった六年生は、今「どうしたら平和な未来が創れるのか」を真剣に討論しています。

います。「大事なものは考え続けること、伝え続けること...」。子どもたちのことばに未来への希望を見る思いがするのです。

新年を迎えて

日本大学藤沢小学校  
校長 加藤隆樹

明けましておめでとうございませう。

本校は平成二十七年に日本大学の付属小学校として、日本大学の自主創造の教育理念のもと「自主性と創造性の芽を育てる」を教育方針として、児童が充実した学校生活を送れるよう取り組み始めました。今年で五期生を迎える未熟な学校です。今年で、勉強をさせていたただく毎日ではありませんが、子供たちの明るい挨拶や行事での楽しい触れ合いの中で、児童にエネルギーをいただき、児童と共に成長しています。

ICT化やグローバル化など、時代の変化が急激に進む中で、地に

しっかりと根を張り、一步一步自分で考え行動できる人を育てる学校にできるよう、教員一丸となってきめ細やかな教育の質の向上に努めます。今後ともよろしく願います。

### 子どもの夢を大切に

昭和学院小学校  
校長 鈴木祐子

新年おめでとうございます。

昭和学院小学校は、建学の精神のもと、一人ひとりの個性を伸ばし、素直でのびのびとした心を育てることを大切にしています。

変化の激しい今という時代を生きる子ども達が自分の夢を持ち夢に向かって進めるよう、私たちは応援していきたい。そのために、昭和学院小学校は、伝統を大切にしながらも常に前進する小学校でありたいと考えています。  
本年もどうぞ宜しくお願い致します。

### 年頭所感

聖ドミニコ学園小学校  
校長 山崎昭彦

私事で恐縮ですが、恐らくこの会報が発行される数週間後、私は還暦を迎えます。少し前までは、齢六十と聞けば「人生の熟練者」というイメージをもっていましたが、自分がその日を迎えることとなると、何と自分は不勉強な若輩者なのだろう、と恥じ入ってしまいます。

先日全国幹部研修会では、江戸東京博物館の見学がありました。江戸ゾーンも東京ゾーンも見事な展示でしたが、特に昭和時代の暮らしの変遷の展示では、家のつくりや家具調度品に、懐かしさがこみ上げました。同時に、特に直近十年の変化の速さと大きさに改めて驚き、追いつけない自分を感じています。  
昨年は地震や豪雨などに見舞われ、二〇一八年の漢字には「災」が選ばれました。二〇一九年は節目の年として、転じて「福」となるよう

に、祈りを大切にしたい一年を始めようと思えます。

### 年頭所感

立教女学院小学校  
校長 佐野新生

明けましておめでとうございます。

旧年中も異常気象、自然災害、米朝・米中の緊張激化、世界中の各地で繰り広げられている紛争など、大きな悲しみや将来への不安を感じさせるニュースが相次ぎました。被害に遭われ困難の中におられる多くの方々の生活が一刻も早く改善され、未来への希望を描くことができるようにと祈っています。

立教女学院は、杉並区久我山で四十年余り存続してきた短期大学とその附属幼稚園とを昨年度より募集停止といたしました。「キリスト教に基づく人間教育」という建学の精神に堅く立ちつつ、次世代を見据えた新たな学院の姿を構築すべく様々

な検討を進めております。今年もどうぞご指導ご鞭撻の程、よろしく御願い申し上げます。

### 「授業力」こそ基盤

湘南学園小学校  
校長 河本洋子

新春のお慶びを申し上げます。

湘南学園は、今年度「創立八十五年」を迎えました。「個性豊かにして身体健全 気品高く社会の進歩に貢献できる 明朗有為な実力のある人間の育成」この建学の精神の下、時代の変化に応える教育活動を日々積み重ねてこれたことは大きな喜びです。

二〇一九年は、ICT教育、グローバル教育など、新たな課題に向けて、飛躍の一年としてまいりたいと思えます。同時に、「見る・聞く・触る」など実際の体験を通した学びや、「なぜ」「どうして」と物事の本質を探究する学びを大切にし、そのための「授業力」を高めていけるよう、教

職員一同、さらに研鑽を積んでまいります。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



あけましておめでとございます。  
昨年は「災」に象徴された一年でした。そして来年はオリンピック開催年と二〇二〇年問題が控えています。昨年と来年に挟まれた今年、ハザマの年として反省と準備に追われるだけにしてはならないと、私自身気を引き締め過ごしていこうと考えています。皆さんそれぞれ抱負を心に実践・実現されていかれると拝察いたします。私学の伝統を守り、進取の精神で日本の教育を支えていくために、微力ながらお手伝いできればと思います。

干支いのししのように、全国すべ

ての私立小学校がさらなる発展をさせるように心よりお祈り申し上げます。



新年明けましておめでとございます。  
この一年も、子どもたちとそのご家族の幸せのために、教師一同力を尽くしていけるようにと願います。未来を担う、今に生きる子どもたちを支えている私たちの役目は、子どもたちが自分の力を十分に発揮して、楽しい学校生活が過ごせるようにしていくことです。学校や家庭をとりまく状況の厳しい中では、困難がたくさんありますが、子どもたちと保護者の方とそして教師同士が共感し対話する中から希望の道を見出していきたいと思います。『喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣け』です。

す。

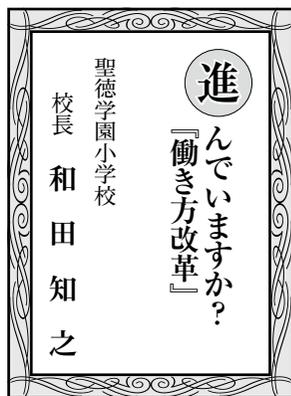
働き方改革といわれる中、その目的が、教師自身が豊かに過ごすことで、子どもたちと誠実に向き合う力を得ることであることも意識していきたいことです。  
本年もよろしくお願いいたします。



謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年、青山学院大学との系属校協定が実効し、校名を青山学院大学系属浦和ルーテル学院に変更いたします。

新しい一歩を踏み出す学院です。が、従来からの「ギフト教育」を掲げ、少人数教育、十二年一貫教育、英語・国際教育、キリスト教教育の四つを大切にしていきたいと思います。神さまから与えられた子ども達を大切に育て、ギフト(才能・個性)を伸ばし、世界に貢献する人間の育

成に邁進してまいります。人を幸せにすることによって、自らも幸せな人生を歩むことが学院の願いです。新しい年も神さまの導きのもとで、教師一丸となって教育創造に取り組んでいきます。  
本年も変わらぬご指導ご鞭撻を、何卒よろしくお願い申し上げます。



あけましておめでとございます。二〇一九年がそれぞれの学校にとって、そして教職員の方々にとって良い年であることを願っています。

他校でもそうだと思いますが、本校でも先生方は忙しい。先生方の様々な実務を三分の二に減らすことができたらどうでしょうか。一番大事でありながらも、なかなか時間が取れない、子どもたちに関わる時間も増えるでしょう。また、先生方の

退勤時間も早くなるでしょうし、自然とプライベートが充実するのではないのでしょうか。

効果的な『働き方改革』を実現し、成果を上げていくためには二つの方向性が必要だと考えています。一つ目が学校組織における業務改善、業務削減です。二つ目が先生方一人ひとりの仕事の効率化です。そのためには教育界だけではなく、他の業界の『働き方改革』を参考にし、常識を打ち破っていく必要があります。ICTを活用して授業や業務を効率化していくのもひとつでしょうし、組織の中でPDCAを回していくことを徹底していくのも一つだと思います。

子どもたちの「昨日までできなかったことができるようになる」、そんな成長を実感できるのが教師の仕事です。将来の日本を支えていく尊い仕事との自負があります。しかしながら、今残念なことにその教師のなり手が減っています。『働き方改革』を進めることが、私たちに続く教職希望者を増やしていくことにつながります。さて、最初の、そして小さな一歩は何にしますか。

**外**  
からみた日本

文教大学付属小学校  
校長 島野 歩

あけましておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお願いたします。

外から見た日本。昨年度は、たびたびそのことを考えさせられる機会が多いう年でありました。一学期にはベトナムから、二学期には台湾からの校長会及び台北市教育局の皆様のご来校があり、授業参観とともに熱意あふれる意見交換にたくさんの学びをいただきました。その中でも、国際社会に巣立っていく子どもたちへの教育として多様な価値観や多様な言語に触れさせるグローバル教育のあり方は大きな刺激となりました。

一方で、日本の子どもたちの挨拶のすばらしさ、礼儀、掃除に励む姿には「見習いたいです」と大きな賞賛をいただいたのです。あたり前のように行っている挨拶や掃除も他国

の方からこのように価値づけていただとく勤労や奉仕を大切にできた「日本の心」をあらためて誇りに思っています。

新しい年号を迎える本年…ますます教育に求められる力は多様化していくに違いありません。しかしながら、守り温めていくものと新しく学んでいくものを見つめながら、今後とも、子どもたちの「今」と「未来」を拓いてまいります。

**教育の原点を守る**

小野学園小学校  
校長 小野 時英

皆様、新年明けましておめでとうございます。

小野学園小学校は昭和二十三年に設立され、平成最後の今年、開校して六十六年目を迎えました。創立以来「頭と心と体をバランスよく育てることが人間を創る」という校訓を守って教育をしてまいりました。そして「人が人を育てる」という

こともまた教育の原点です。現代のようにICTなどの情報教育機器が発達しても、「人間を育てるのは人間である」ということを私たちは忘れてはならないと思います。

時代も、世界も、目まぐるしく変化しています。本校は「教育の原点」を守りながら、今年も時代に応じた新しい取り組みを積極的に進めてまいります。

先生方のご健康とご多幸、各私立学校のご発展を心よりお祈り申し上げます。

**年頭所感**

高羽六甲アイランド小学校  
校長 田川 哲也

明けましておめでとうございます。

平成三十一年の干支は己亥（つちのと・ゐ）であり、己（つちのと）は己を正すという意味を持ち、亥は何事かをはらんでいる象を表している文字です。今年度は、より、筋道

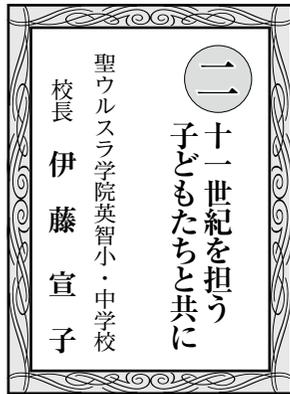
を正しくして、革新に向かい、如何に発揚していくかが問われる年だと考えています。

本校は、五十八年ぶりの神戸市内の私立小学校として七年前に開校し、この三月には、第三期の卒業生を送り出します。「高羽」の児童らしく、腰骨をシャンと立てた姿で卒業させたいと思います。立腰は、脳を覚醒し、非認知能力を高めることに繋がると考えています。本年も、立腰を通して、自己革新しながら相手の立場に立って考え、思いやることのできる次代のリーダーとして相応しい児童を育てていき、実り多い一年にしていきたいと思います。



新しい年も本校創立の理念を常に確認しながら謙虚に自らを省み、一人ひとりの子どもたちのため、新たな出発です。子ども、教職員、保護

者が互いに聴き合う関係を大切に「真正な学び、学び合い高め合う学び、広がる学び」を求めてまいります。そのためにも、日私小連の先生方とともに学び合いを深めることは何より大切です。私立小学校で学ぶよさを実感していただく教育の実現を目指すとともに、公教育を担う責任を痛感し、すべての小学校教育の改善に資するパイオニアの役割をともに果たしていきたいと願っています。



小・中学校、高校の児童生徒合計一三三四名が学び合う一本杉キャンパスで教育活動が展開されております。この子供たちは全員が二十一世紀に生を受けた子供たちです。小学一年生は東日本大震災に生を受け、高校三年生十八歳は国民主権者としての立ち位置を与えられた青年期の生徒です。

世界全体が様々な課題を抱えながら、だからこそ「真・善・美」「信・望・愛」を探し求め続けるホモサピエンスの歴史が織りなされ続けることが肝要と思われれます。明治改元から百五〇年目に学ぶ教育原点、第一次世界大戦終結一〇〇年に学ぶ世界平和等々、常に世界を意識し、立ち位置を考えてきた歴史が見えてきます。今大きくクローズアップされている学び「主体的・能動的に對話による深い学び合い」がなされるためには、子供たちの育成に欠かせないのが価値観の熟成ではないでしょうか。発達段階に応じた思考力・分析力・表現力の育成は、当に教育の原点として、大人たちがこの育成力を磨き上げていくことが肝要と思われれます。



◆編集後記

今年も日本私立小学校連合会会報新年号「新しい年への抱負」のご寄稿をお願いしましたところ、九十名を越える先生方から教育に対する熱い思いを綴った原稿をいただきました。感謝申し上げます。



◆日本私立小学校連合会事務局より  
明けてましておめでとつございませす。

本年もご指導ご鞭撻の程よろしく  
お願い申し上げます。  
事務局長 清水 良一  
係長代理 長沼 莉宇  
係 員 齋藤 美奈 河野 陽子

## 2019年度 日私小連研修会日程表

(平成30年12月28日現在)

研修会	実施回数	集録番号	期 日	場 所
西日本地区	61	417	2019年5月24日(金)	香里ヌヴェール学院小学校 (大阪府)
東京地区	56	418	2019年6月7日(金)	白百合学園小学校 (東京都)
全国教頭	43	419	2019年8月21日・22日(水・木)	新横浜グレイスホテル (神奈川県)
全国夏季	63	420	2019年8月19日～21日(月～水)	新横浜プリンスホテル、他 (神奈川県)
北海道・ 東北地区	48	421	2019年10月11日(金)	聖ウルスラ学院英智小・中学校 (宮城県)
九州地区	44	422	2019年10月18日・19日(金・土)	長崎南山小学校 (長崎県)
関東地区	61	423	2019年11月16日(土)	洗足学園小学校 (神奈川県)
全国幹部	64	424	2019年12月5日～7日(木～土)	新横浜プリンスホテル (神奈川県)

### 日本私学教育研究所と共催の初任者等研修会

研 修 会	期 日	場 所
初任者研修地区研修会		
小学校(東日本地区)	2019年7月29日～31日(月～水)	アルカディア市ヶ谷(東京都)
小学校(西日本地区)	2019年7月31日～8月2日(水～金)	大阪ガーデンパレス(大阪府)
初任者研修全国研修会		
小中高校(東日本)	2019年10月11日・12日(金・土)	主婦会館プラザエフ(東京都)
小中高校(西日本)	2019年10月25日・26日(金・土)	京都ガーデンパレス(京都府)
中堅教員(10年経験者等)研修会		
小中高校(東日本)	2019年7月23日・24日(火・水)	主婦会館プラザエフ(東京都)
小中高校(西日本)	2019年7月26日・27日(金・土)	京都ガーデンパレス(京都府)

東日本地区は(東京地区と北海道・東北地区と関東地区)、西日本地区は(西日本地区と九州地区)を含む。

## 2010年代の教育宣言

今や、地球規模で激動する2010年代を迎えました。私たち私立小学校は、著しい社会変化と科学技術の高度化が進展する時代の中で、建学の精神を継承するとともに伝統を重んじ、その使命とする理想の教育をめざし、誇りをもって初等教育の先駆的な実践を世に問うてきました。

21世紀は「知識基盤社会」の時代であるといわれています。その一方で「心」の時代でもあります。私たち私立小学校は、個人の自由と人権および児童一人一人の個性を尊び、その内なる可能性を児童愛をもって引き出す方法を実践・探求し、未来を切り拓いていく基礎的資質と心豊かな人間性を育成します。

併せて、真の世界平和と持続可能な自然環境の維持のために、広い視野をもって考え、共感する力を身につけた児童を育成します。

そのため、私たち私立小学校は、伝統と特色ある教育をさらに充実させ、私学人としての自覚に立ち、お互いに協力結束し磨き合い、わが国初等教育の新たな創造をめざすことをここに宣言します。

2010（平成22）年6月11日

日本私立小学校連合会